

きょうだい^{リアル}が語る生の声

～ヤングケアラー支援の新たな視点

病気や障害のある人の兄弟姉妹のことを「きょうだい」と呼びます。
子どものきょうだいのことを「きょうだい児」とも表します。
きょうだいは、不安や葛藤を周囲に打ち明けることが難しく、
ヤングケアラー／ケアラーとなっている場合もあります。
どのようなサポートが必要なのか、一緒に考えていきましょう。

2025
10/25 Sat.
14:00～16:00
(13:30 開場)

第一部 基調講演

きょうだい児を知っていますか？ ～その現状と支援

たきしま まゆ
講師：滝島 真優 氏

成蹊大学文学部 特別研究員／きょうだい会 SHAMS 代表／一般社団法人日本ケアラー連盟 理事。社会学博士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師。社会福祉士として障害者就労支援事業、相談支援事業に従事。現在は学齢期のきょうだい児支援に関する研究を中心に、社会福祉士の養成教育等に従事。双子の弟が知的障害を伴う自閉スペクトラム症である姉としての経験から、2008年に学齢期のきょうだい児を対象とした任意団体「きょうだい会 SHAMS」を創設・運営。アメリカで開発された支援プログラム「Sibshops」のワークショップファシリテータートレーニングを修了している。



第二部 トーク セッション

子ども時代では終わらない特有の課題 ～ライフステージでのそれぞれの思い・葛藤

滝島 真優 氏

パネリスト

会場参加

美沙 さん

4人兄弟で、兄に知的障害と自閉症の障害がある妹の立場。

Zoom 参加

吉永 育未 さん

大学院生。姉と兄に知的障害と自閉症の障害がある弟の立場。

会場

福祉支援センターたかはた
2階 第一会議室
(日野市高幡 1011 番地)
京王線・多摩モノレール
高幡不動駅北口より徒歩 3 分

お申し込み・お問い合わせ

日野市福祉政策課 地域福祉係

☎ 042-514-8467 (平日 8:30～17:00)

定員：40 名 10/1(水)より受付開始

電話または LOGO フォームにてお申し込みください。
お席に空きがあれば、当日参加も可能です。

